

〒010-0014 秋田県秋田市南通宮田15-1

ホームページアドレス <http://www.edu.city.akita.akita.jp/akm-c/>

TEL 018-833-8467 FAX 018-833-8468



生徒の活躍を振り返って

校長 茜谷 英也

本校では、教育目標に昨年度同様「志に生きる～夢と誇りをもって前向きに～」を掲げ、豊かな心を育むことを学校経営の重点とし、「喜び 感動 笑顔」をキーワードに、教育活動を展開してきています。新入生126名を迎え、全校生徒398名で新たにスタートした今年度も、もうすぐ夏休みを迎えようとしています。この間、生徒たちは、たくさんの体験と活躍をしましたので、いくつか紹介します。

4月、不安がいっぱいだった新入生も少し学校に慣れ、部活動にも参加するようになりました。厳しい練習を積み重ねて臨んだ市春季大会では、バレーボール男子の優勝、同女子の準優勝、個人入賞者も多数おりました。

5月、県春季大会では、バレーボール女子が準優勝に輝きました。また、生徒総会をはじめ、生徒が中心となって進めた行事は、驚きや感動、笑顔がいっぱいで、みんな生き生きと輝いていました。3年生のふるさと探究学習では、昨年の4コースから5コースに広げ、稲川・増田、大潟村・男鹿、鳥海山・仁賀保、白神山地、角館などを訪れ、県内の歴史・文化・自然に触れました。また、稲庭うどん作り・なまはげ太鼓・手作りアイス・棒パン作り・樺細工などの様々な体験を通して「ふるさと秋田」のよさを実感しました。2年生の南中スポーツでは、バスケットボールやサッカー、お玉リレー、借り物競争、選手リレー、全員リレーなど一人一人が競技を楽しみ、また学級の団結を確認し合う機会となりました。昨年の冬に行った1年生のまんたらめ宿泊研修は、今年度から若葉の季節へと移行し、オーパス登山、野外炊飯、オリエンテーリングなど自然を満喫しました。残念ながら夜間の豪雨のため、屋内に退避はしたものの、野外テントでは寝袋に入って寝る体験もでき、有意義な2日間を過ごすことができました。

6月、「全力主義。～開け!栄光の扉 燃えろ!チーム南中～」のもと、190名の南中選手団が秋田市中学校総合体育大会に参加しました。開会式での行進は、統率のとれた整然な動きの中に柔らかさを感じられ、メインスタンドに陣取った応援団に対し、明るく笑顔で手を振る選手の姿は清々しく、とても印象に残りました。また、競技場に響き渡る応援団のユールや歌声、応援団と一体になって踊るバトン部のチアは、多くの校長先生からお褒めの言葉をいただきました。主な成績は、バレーボール男子5連覇、同女子が優勝、野球が準優勝、個人の入賞を含め、総勢47名が県大会の出場を果たしました。残念ながら中総体では思いが叶わなかったチームや個人の皆さんは、目標を新たに、次のステップを踏み出してほしいと思います。

また、応援団幹部、吹奏楽部、バトン部、一般応援の大応援団の皆さんには、選手と一体となった素晴らしい応援に感謝しています。

最後に、保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し、物心両面からご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。今後ともどうぞ、よろしくお願いたします。

◆ シリーズ 喜び・感動・笑顔 一回目 ◆

感動の中総体（応援活動を通して）

三年 石川

中総体では、毎年多くの中学生が、学校での部活動の成果を余すことなく出し切り戦っています。

南中生も、「全力主義。」のもと、日々の練習を全力で頑張ってきました。南中生の意気込みが最も感じられたのは、全校応援練習と壮行会の時だと思っています。私は応援団の統制部長として、全校応援練習の司会を担当しました。リラックスした雰囲気が始まった練習は、回を追うごとに、熱気が増していきました。第三回のタイガールは、生徒全員が笑顔で楽しみなが、まさに全力で踊っていました。それを見た時、「この笑顔をもう一度見たい。勝ってほしい。」と思いました。

壮行会では、団長や副団長、選手の皆さんに助けられない、統制部長として応援を盛り上げることができました。そんな選手たちの決意表明は、どれもユーモアがあったり、カッコよかったり、個性的で心に残るものがたくさんありました。

そして、いよいよ本番。私は応援団としてサッカー、バスケット、野球、バレーを応援しました。特に印象に残った試合は、バレーの男女決勝です。女子側の応援席、男子側の応援席どちらも南中の応援団がいて、私たちが応援を始めると、県立体育館に声が反響して、その場の空気が南中の色に染まっていく気がしました。大応援の中、試合が終わり、選手たちにも私たち応援団にもやり切った達成感があふれていました。

中総体を振り返ると、点が入ったときの喜びや勝利した時の笑顔はもちろん、それぞれの試合には、接戦のドキドキ感、感動、負けてしまった時の涙があり、その一瞬一瞬がドラマチックで、「南中みんなの全力主義。」を感じました。

今回の中総体で悔しい結果だった人、強豪相手に必死に食らいついた人、嬉しい結果だった人などたくさんいると思います。私たちに「喜び・感動・笑顔」を与えてくれた南中生を称えたいです。そして、少し早いかもしれませんが、来年はどんな「全力主義。」を見られるのか楽しみにしたいです。



■ 取組の重点 「人づくり」 - 生徒指導部から - ■

繋ぎ、つながる

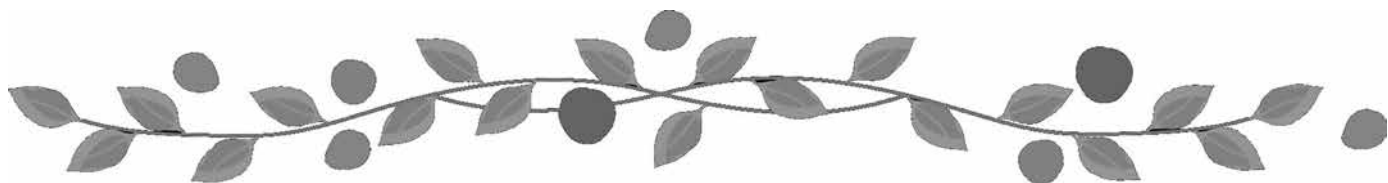
南中での勤務が7年目となりました。この数年間、南中では毎年のように様々な工事が行われ、今年は学校前の歩道が工事の影響で手狭になっています。学校前は常時交通量が多く、生徒の安全を確認する必要もあって、毎朝、校門付近で生徒と挨拶を交わしながら登校を見届けています。

「おはようございます」南中生の爽やかな挨拶。先日、地域の安全を見守ってくださっている方から「南中生はよく挨拶をしてくれるようになった」と嬉しいお言葉をいただきました。また、「先生 おはよう これあげる」と、黄色い帽子をかぶった1年生の小さい手から、摘んだばかりのお花のプレゼントを受け取る時もあります(ダンゴムシの時もありました)。散歩途中の方からは「南中の生徒は今は何人だ？ 私の頃は… 今年の野球はどうだ？」等々、日々の会話から、地域に見守られ、支えられ、地域と繋がっている南中の今を感じます。

今年の4月、新学期が始まり、緊張感の中で初めての全校集会を行いました。そこには、2、3年生の礼や姿勢など、先輩の立ち居振る舞いに驚き、戸惑う新入生の姿がありました。集会は、上級生が新入生に、中学生としてのあるべき姿を無言で、背中であげた時間であり、南中の伝統を繋いだ瞬間でした。6月、学校全体が中総体一色に染まりました。体を反って応援する先輩の迫力に圧倒され、自分たちもこうなりたいと必死で頑張る後輩たちの姿が一人、また一人と増えていきました。試合結果は様々でしたが、先輩たちの汗や涙、気魄を目の当たりにした経験は、「全力主義。」を伝統として繋いでくれることでしょう。

昨今、様々な事件がニュース等で報道され、危機管理、安全管理が求められています。とかく人間関係が希薄になり、ネットの中での無機質な文字が、人の心に与える影響が大きくなってきています。そんな時代だからこそ、人とつながる、地域とつながる、伝統とつながることを大切にして、我が南中は成長していかなければなりません。南中生のこれからの活躍にどうぞご期待ください。

生徒指導主事



■ 取組の重点 「学力づくり」 - 学習指導部から - ■

見通しと〇〇合い

学校教育に関する話題は、新聞紙面やテレビ報道を通じて保護者、地域の皆様へ日々配信されていますが、このたび、新しい学習指導要領が公表され、中学校では2021年度から完全実施となります。今回の指導要領は、次世代を担う子どもたちが未来社会を切り拓くための資質や能力を一層確実に育成することを目指しており、そのために「主体的・対話的で深い学び」が求められています。そこで本校の研究主題(取組の主軸)を見てみますと、「主体的に学び、共に認め合う生徒の育成」となっており、まさに時代に合ったテーマといえるのではないのでしょうか。

さて、主体的に学ぶためには、一人一人の生徒に授業の見通しをもたせることが大切と考えます。日々の授業において、生徒は、その始まりに今日の学習課題(ねらい)を知ります。そして、課題を解決するために、調べたり、実験したり、話し合ったりと、様々な活動に取り組むこととなります。「この課題だったら情報が必要だから、〇〇をよく読まない」「もっと他の意見を聞いた方が考えやすい」など、自分なりに先の見通しが見えてくると、教師の細かい指示を要せず、自ずから積極的に学んでいくことでしょう。

今年の5月、南中独自に行ったアンケートによると、約9割の生徒が「話合いで友達の意見よく聞いている」「友達の意見を参考に考えをまとめている」と回答しており、授業中の生徒間の関係性が良好であることが伺えます。一方、「意見を発表することが得意」と答えた生徒は5割を下回り、自信をもって自分の考えを表現することへの苦手意識を克服していくことが課題であると捉えています。指導に当たっては、少人数で話し合う回数を増やしたり、自分の意見を伝えざるを得ない場面を設定したりと、様々な工夫を講じているところです。また、自信の土台となる存在感や有用感をはぐくむことが大切であるとの考えから、日常の諸活動の中でも互いに感謝し合う、認め合う場の充実を図ることが大切と考えます。

教室内に南中生の声が響き合い、互いに喜び、感動し合い、笑顔あふれる授業づくりを目指して今後も取り組んでまいります。

研究主任



「心ひとつ 夢たくさん ～広げよう学びの輪 深めよう友情の輪～」のスローガンのもとで行われた宿泊研修は、生徒たちの手による、心温かく思い出深い2日間となりました。

一日目、前半の目玉であるオーバス登山。およそ1時間の登山でしたが、心地よい汗を流し、まんたらめの春を満喫しました。その後の昼食が最高の笑顔だったのは、言うまでもありません。午後からは、カレーと飯ごうの野外炊飯に挑戦しました。包丁を持つ手が危なっかしい人もいましたが、なかなかうまい手つきの人もいておうちでも手伝いをしているのかなと感心しました。みんなの手作りのカレーライス、格別でした。夜は、生徒たちが一番楽しみにしていたキャンプファイヤー。火の神と御子たちの儀式、トーチサービスは、静かに厳かに。実行委員が企画したクラス対抗校歌合戦、ゲーム、マイムマイムダンスは、最高に盛り上がりました。夜のまんたらめに生徒たちの歌声と笑い声が響き渡りました。予期せぬ出来事が起こったのはこの後のこと。テントでシュラフで横になったすぐ後の豪雨。やむなく館内へ。廊下や研修スペースでシュラフの包まれ、全員で雑魚寝。これもまた、忘れられない思い出となりました。

二日目、小雨の朝。オリエンテーリングを決行。みんなの気持ちが通じたのか、晴れ間も見え、ゴールで待つ私は、ほっとしたものでした。総合案内所での南中フォトコンテストの写真には、疲れを知らないたくさんの笑顔が収められていました。

生徒は、まんたらめという自然の中でそして集団行動の中で、我慢する力や協力する力など、たくさんのことを学びました。また、友達よさを発見し、感謝することを学びました。それを言葉で表現できる力をもてるようになるとトラブルを解決する力、乗り越えていく力を育てていくことに通じると考えます。当日の食事や持ち物の準備、天気心配などたくさんのご難儀をおかけいたしました。保護者の皆様のご協力と、ご理解に心から感謝申し上げます。

1年主任



「ふるさと秋田のよさを再発見」の共通テーマのもと、5コースに分かれて活動を展開しました。

大潟村干拓記念博物館では、ガイドの方から干拓の歴史や苦勞についての熱い語りを聞き、干拓という未知の出来事に触れるとともに、地元の方の郷土を愛する思いを感じ取ることができました。その後、なまはげ太鼓体験を行い、指導者の迫力ある演技に感動しながら、太鼓体験を満喫しました。

仁賀保探訪では、鳥海山のすそ野に広がる花立牧場を訪ね、ジャージー牛乳によるアイスクリーム作りを体験し、完成後の試食時、当然のことながら生徒は満面の笑みを浮かべていました。また、TDK歴史未来館では、電子産業の歴史や未来の生活を見学し、かつて多くの家庭で使用されていた“黒電話”から自宅に電話をかける体験は貴重なものでした。

角館では、伝統工芸職人の手ほどきを受け、樺細工のコースター作りに挑戦しました。土台の部分から作り始め、表面に飾りをつける作業を経て完成に至った時は、達成感と同時に秋田の伝統工芸品を肌で感じ、「感動した～」「最高～」といった声をたくさん聞くことができました。

白神山地では、現地ガイドの方と共に、ブナの原生林が広がる留山を散策しました。熊の爪跡を発見した時には、動物を人との共存について考える場面となり、また、日常生活と遠く離れた森林との関係についても考える機会となりました。

稲庭うどんの手作り体験では、仲間で協力し、伸ばして干したうどんが後日学校に届き、ご家庭でお子様の作ったうどんに舌鼓を打った方もいらっしゃるでしょう。また、横手市増田では、伝統的建造物保存地区の内蔵を訪問し、釘などを使わず木だけで作る約150年前の高い技術に、驚きと新たな発見に満ちた時間を過ごしました。

いずれも地元の経験を積んだ職人や職員のかたに丁寧・親切にご指導いただき、そのよさを伝える方々の熱い思いを感じながら、ふるさと秋田の様々なよさを再発見することができました。そして、生徒一人一人がそれぞれに喜びや感動を実感した楽しく、有意義な1日でした。探究学習の実施にあたり、たくさんのご指導やご支援をいただいた皆様に、本紙面を借りて深く感謝申し上げます。

3年主任





秋田市中総体 を終えて



● 男子陸上 ● 主将 高橋

部員の共通目標は、「全員が県大会に出場する」ということでした。中総体では全員がそれぞれの目標を胸に3日間戦い抜きました。結果は決して満足いくものではありませんでしたが、次の課題を見つけられる良いきっかけにもなったと思います。私はこの三日間を通して、改めて「仲間」の大切さとその大きさに気付くことができました。この3年間、陸上部の仲間と切磋琢磨した日々を絶対に忘れません。

● 女子陸上 ● 主将 木村

市中総体の目標を「総合3位」に掲げ、一人一人が“全力主義。”のローガンのもと、3日間戦い抜きました。結果は僅差の4位でしたが、仲間と一緒に練習してきたことや、声が枯れるまで応援してくれる仲間がいてくれたことで、最後の最後まであきらめずに競技に臨むことができました。悔しい思いをした人も、ベストが出た人も、やりきった達成感であふれたよい大会になりました。これから県大会へ進む人は、一日一日の練習を大切に上位大会で結果を残します。そして、秋田南の名を、全県に轟かせたいと思います。

● 男子卓球 ● 主将 真坂

私たちは、団体での1勝を目標に頑張ってきました。卓球は相手がいないと練習ができないスポーツです。だからこそ部員全員で支え合いながら中総体に向け練習してきました。団体の結果はBブロック4位で目標に届くことはできませんでしたが、しかし、チーム全員が声を出して応援ができました。僕たちはこの大会でチームとして成長できたと思います。僕たちは引退となりますが、新人戦では団結力で1勝してほしいです。

● 女子卓球 ● 主将 明石

私たちは、県大会出場に向けてそれぞれの課題に一生懸命取り組んできました。市中総体では、団体で決勝トーナメントまでいったものの惜しくも敗退し、全県には行くことができませんでした。しかし、団体でも個人でも接戦が多く、一人一人が全力で戦うことができました。全員で全県に行けませんでした。悔いのない中総体になったと思います。今までたくさんの応援ありがとうございました。

● 剣道 ● 主将 畠山

個人戦・団体戦ともに県大会出場はできず、悔いの残る結果となりました。けれども、個人戦では、一人一人が試合に集中し、団体戦では、チーム一丸となって全力でプレーし、練習の成果を出し切ることができました。後輩たちには、今回の中総体の経験を糧に、来年こそ県大会出場を果たしてほしいと思います。応援してくださった皆様、ありがとうございました。

● 男子バスケットボール ● 主将 阿部

1回戦、御野場中との対戦結果は28対58、初戦敗退という結果でした。3年生にとっての公式戦初勝利、そして県大会出場という夢は叶わず、思わず涙がこぼれてしまいました。しかし、新チームを結成したときよりもプレーが上達し、人としても成長することができ、とても良い経験になりました。これらの経験を生かし、将来に役立てていきたいと思いました。これまで指導、支援して下さった先生方、保護者の皆様、本当に有り難うございました。今の1、2年生には、3年生が成し遂げることができなかった夢を叶えられるよう、全力で声を出して頑張ってください。

● 女子バスケットボール ● 主将 竹島

これまで、全県出場を目標に今まで頑張ってきました。そして迎えた中総体。初戦の秋田東中に35対61で敗れ、3年生にとっての最後の大会が終わりました。しかし、悔いは残っていません。全力主義で楽しくプレーすることができたからです。また、皆さんの応援でさらに試合を盛り上げていただきました。本当に有難うございました。そして、3年生を支えてくれた後輩たち。今まで学んできたことを糧に、勝利を目指し頑張ってください。



● 男子ソフトテニス ● 主将 小室

これまで、中総体に向けた強化期間中は特にゲーム形式の練習に取り組み、ミス減らすという意識を高めてきました。そして中総体を迎えました。初日の団体戦1回戦では秋田西中を3-0で破りましたが、続く2回戦第1シードの桜中には1-2と惜敗でした。翌日の個人戦では、春季大会で勝てなかったペアが勝利を挙げた反面、初戦で敗退するペアもありました。後輩のみなさんには、僕たちの代で果たせなかった「団体での県大会出場」を達成してほしいです。



● 女子ソフトテニス ● 主将 堀川

県大会に進むことはできなかったものの、「挑戦」という合い言葉で最後の1分1秒まであきらめずに試合をすることができました。選手全員が今もてるベストの力を出し切ったと思うので、悔いはありません。後輩たちには、これからの練習を日々大切にして、県大会に進んでほしいと思います。ソフトテニス部を最後まで応援して下さったみなさん、本当にありがとうございました。



● サッカー ● 主将 藤井

1回戦、対秋田北中5-0で勝ち、2回戦対城東中1-3で敗れ、目標としていた県大会出場とはなりません。去年の先輩たちの県大会ベスト8の記録を超えられなかったことは悔しいですが、今まで練習してきたすべてをぶつけることができました。今年超えられなかった県大会出場という壁を、来年は打ち破ってほしいと思います。応援して下さった生徒の皆さん、地域の皆さん、支えて下さった保護者の皆さん、そして、指導して下さった先生方、鈴木コーチ、本当にありがとうございました。



● 男子バレーボール ● 主将 岩見谷

市中総体の結果は、2-0 城南中、2-0 御野場、2勝0敗で優勝。皆さんの大きな声援のお陰で、五連覇を達成することができました。しかし、試合内容は満足いくものではありません。最終セットは、先にセットポイントを取られる苦しい試合となりました。全校の皆さんの応援は本当に力になりました。ありがとうございました。県大会までの短い時間に、やるべき事を一つ一つ積み重ねて、県大会で勝てる力を付けていきたいです。



● 女子バレーボール ● 主将 高橋

市中総体では、練習の成果を存分に発揮することができ、優勝することができました。今大会では準決勝から苦しい場面がたくさんありましたが、モットーである「全員バレー」で気持ちを一つにすることができました。また、この優勝は私たちだけで勝ち取ったものではなく、応援して下さった皆さんの力があってこそ取れたと思います。ありがとうございました。県大会でも頑張ります。



● 野球 ● 主将 鈴木

初戦、私たちの対戦相手は西中でした。チャンスで一本が出ない場面も多く、苦しい展開でしたが、守備でピンチの場面でも全員で守り切り3-0で勝つことができました。そして翌日の決勝戦では、秋・春と優勝している山王中と戦いました。挑戦者としてチーム一丸となって戦いましたが、0-2で負けてしまいました。本当に悔しい結果となり、全員が悔いの残る大会となってしまいました。大会前に「野球部頑張れ」と声を掛けて下さった方々に申し訳ない気持ちでいっぱいです。後輩たちには必ず優勝旗を奪還してほしいと思います。

● 水泳 ● 遠藤

私はこれまで中総体に向けて毎日の練習を全力で頑張ってきました。そして今回の中総体では、目標にしていたベストタイムを出すことはできませんでしたが、100m平泳ぎ、200m個人メドレーのどちらも県大会標準記録を突破することができ、県大会への出場を決めることができました。友達や家族、先生方の応援のお陰で、全力で泳ぐことができました。みなさん、応援有難うございました。

● ゴルフ ● 寺境

1年生で初めての中総体、練習は頑張りましたが、結果は6位と実力が足りませんでした。この大会を通して、ゴルフは個人競技ですがチーム南中の一員であり、南中の代表であることを実感しました。県総体では南中の代表として頑張ります。南中生として市中総体よりいいスコアを出し、ベストを尽くします。そして、「全力主義。」で頑張ります。

◆ 各種大会等成績 ◆

秋田市中学校春季大会 (4/22~23)

《第3位以上》

- 男子バレーボール 優勝
- 女子バレーボール 準優勝
- 陸上競技
 - 女子100mハードル 第1位 木村
 - 女子砲丸投 第1位 日野
 - 男子3年100m 第3位 高橋
 - 女子共通800m 第3位 長谷川

全県春季バレーボール大会 (5/13~14) 女子準優勝

第66回秋田市中学校総合体育大会 (6/17~19)

《入賞、県大会出場者☆》

- 男子バレーボール☆ 優勝 (5連覇)
 - 女子バレーボール☆ 優勝 (前回：平成26年度)
 - 軟式野球 準優勝
 - 陸上競技
 - 女子共通100mハードル 第1位 木村
 - 女子共通四種競技 第1位 ☆木村
 - 女子共通砲丸投 第2位 ☆日野
 - 男子奨励1500m 第3位 塚本
 - 男子奨励走り幅跳 第3位 坂本
 - 女子奨励100m 第3位 豊澤
 - 女子1年100m 第3位 ☆東海林
 - 女子共通100mハードル 第4位 ☆堀井
 - 女子奨励100m 第4位 小野
 - 男子3年100m 第5位 ☆高橋
 - 男子共通3000m 第5位 ☆鈴木
 - 女子共通800m 第5位 ☆長谷川
 - 女子共通四種競技 第5位 堀井
 - 女子共通400mリレー 第5位
- ☆ (佐々木 堀井 川床 木村)
- 男子2・3年1500m 第6位 鈴木
 - 女子共通800m 第6位 渡部
 - 女子2・3年1500m 第6位 ☆渡部
 - 女子奨励走幅跳 第6位 星川
 - 女子オープン1500m 第6位 後藤
 - 女子1年100m ☆八木
-
- 卓球
 - 女子個人 第3位 ☆佐々木
 - 女子個人 ☆明石
 - 水泳競技
 - 女子200m個人メドレー 第4位 ☆遠藤
 - 女子100m平泳ぎ 第6位 ☆遠藤
 - ソフトテニス
 - 男子個人 ☆小室 ・ 鈴木

(男子バレーボール)

第23回秋田グリーンライオンズカップ (5/3) 優勝
優秀選手賞 小林 岩見谷

(女子バレーボール)

第11回雄和招待中学校女子バレーボール大会 (6/3) 優勝

(陸上競技)

第24回天王グリーンランドクロスカントリー大会 (5/21)
第3位 鈴木 第4位 渡部
第5位 佐藤 第5位 長谷川

(野球)

第35回東由利中学校招待大会 (6/3) 準優勝

(バトン)

全国共通規定演技バトンコンテスト (6/11)

ソロトワール中級 金賞	ソロトワール中級 銀賞	
佐々木	鎌田	新岡
八島	新山	新山
田村	佐藤	谷地田

秋田市「よい歯のコンクール」(6/4)

優 秀 賞 佐々木
優 良 賞 佐藤 石田
ポスター入賞 中村 渡辺



第59回秋田県美術展覧会 (県展6/26審査)

デザイン 入選 石川 佐藤 中村

全日本吹奏楽コンクール

第59回秋田県中央地区大会 中学校大編成の部 銀賞
10月1日(日) 定期演奏会 アトリオンにて 午後から

お知らせ

- ◇東北大会 陸上 8/8~10 (青森市)
バレー 8/5~7 (大館市)
- ◇秋田市中総体駅伝競走大会 8/26 (県営トレーニングセンター)
- ◇秋季大会
 - 9/16~ 野球 バスケ テニス サッカー
 - 9/24~ 野球
 - 9/30~ バレー
 - 10/7~ 卓球 剣道
 - 10/14~ 陸上 バレー
- ◇今後の主な学校行事
 - 8月19日 秋田市英語弁論大会
 - 8月25日 定期テスト②
 - 8月26日 秋田市中総体駅伝大会
 - 8月28日 教育実習受入期間 (~9/15)
 - 9月8日 南中祭開祭式
 - (9/9 一般公開 9/12 合唱コンクール 9/13 振替休日)
 - 9月27日 生徒会役員立会演説会
 - 10月6日 前学期終業式
 - 10月11日 後学期始業式